用語解説 第 130 回テーマ：FIP 制度（Feed In Premium）

滝波 力〔東京電力ホールディングス(株)〕

1. FIT 制度の概要

再エネ特措法（2012 年 7 月施行）で FIT（Feed In Tariff: 固定価格買取）制度が導入され太陽光発電が大幅に増加した。

同法施行後 2020 年度末までに FIT 制度が抜本的に見直され、電力市場への統合を推進する制度が検討された。

検討の結果、FIT に続く制度として欧州等で導入が進んでいる FIP（Feed In Premium）制度を念頭に制度設計され、再エネ特措法の改正を含むエネルギー供給強靱化法が 2020 年 6 月成立（2022 年 4 月施行）、FIT 制度に加えて市場連動型の FIP 制度が制定された。

FIT 制度と FIP 制度の違いについて、右図に概要を示す。

FIT 制度が市場価格の変動に関係なく固定価格で買取のに対して、FIP 制度は発電事業者が卸市場等で売電した時に一定のプレミアム（供給促進交付金）が支払われる制度である。

2. FIP 制度による再エネの市場統合の推進

再生可能エネルギーの電力市場統合を推進し、主力電源化する事を目的に作られた FIP 制度では、認定事業者に対し再生可能エネルギー以外の電源と同様に市場取引可能となる事を目指している。

経済産業省資源エネルギー庁ホームページより引用

すなわち、発電した電気を事業者が取引すること、インバランスの発生を抑制するインセンティブを持たせることが求められている点が FIT 制度との大きな違いである。

FIT 制度では発電事業者には免除されていたインバランス抑制義務が課されるとともに、バランシングコストがプレミアムに加算される制度となっている。

バランシングコスト合理化等を目的として発電事業者がオンライン制御可能である事が認定要件であり、アグリゲータの活用についても FIP 制度に盛り込まれている。

こうして現状の FIT 制度下の規制を緩和し、アグリゲータが自然変動電源、調整可能電源、DR や蓄電池等を組み合わせた BG（Balancing Group）を組成しバランシングコストの低減に寄与する事が可能な制度設計を行っている。

（2021 年 9 月 19 日受付）

目次

電力・エネルギー部門誌 2022 年 1 月号

（論文誌電子ジャーナル版 <https://www.iee.jp/pub/journal/>）

〔解説〕

超電導磁気分離法による火力発電所給水系スケール除去
…… 西嶋茂宏, 三島史人, 秋山庸子,
岡田秀彦, 廣田憲之, 山地 豪,
松浦英樹, 難波正徳, 関根智一

〔論文〕

需給調整力の広域取引市場が導入された多地域系統に
おける経済性評価 …………… 山下隼矢, 横山明彦,
石川幸一郎, 八木貴大, 佐藤祐也
単相交流マイクログリッド構想
…… 餘利野直人, 関崎真也, 足立虹太,
佐々木 豊, 造賀芳文, 清水敏久

低圧巻線側からの加圧にも対応した励磁突入電流解析用
変圧器モデルの開発 …………… 米澤力道
分岐線を有する配電線の共同接地線を用いた断線点推定
手法 …………… 児玉安広, 林 泰弘, 西田悠介
多回線直流送電の系統切替時における発電設備の運転
継続法 …………… 榎本光芳, 佐野憲一朗,
菅野純弥, 福嶋純一
電圧標準偏差法による電池システムの健全度モニタリ
ング …………… 山本幸洋, 波田野寿昭,
丸地康平, 三ッ本憲史